



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2018年7月号

病院・診療所のみなさまへ

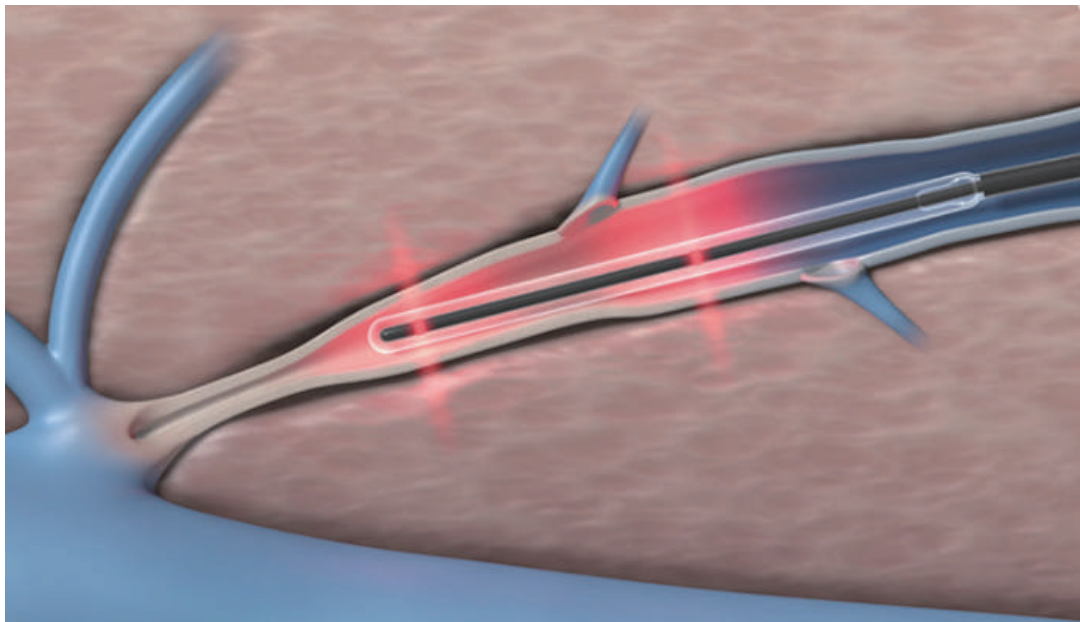
いつも当院をご利用くださり、誠にありがとうございます。連日きびしい暑さが続いておりますが、病院・診療所のみなさまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。2017 年 9 月より内容・デザインを一新した『城陽江尻病院だより』ですが、7 月号ができあがりましたのでご高覧いただけますと幸いです。今号の特集は、「下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療を開始しました」と「透析室におけるフットケアの取り組み」となっております。ぜひご一読ください。

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療を開始しました

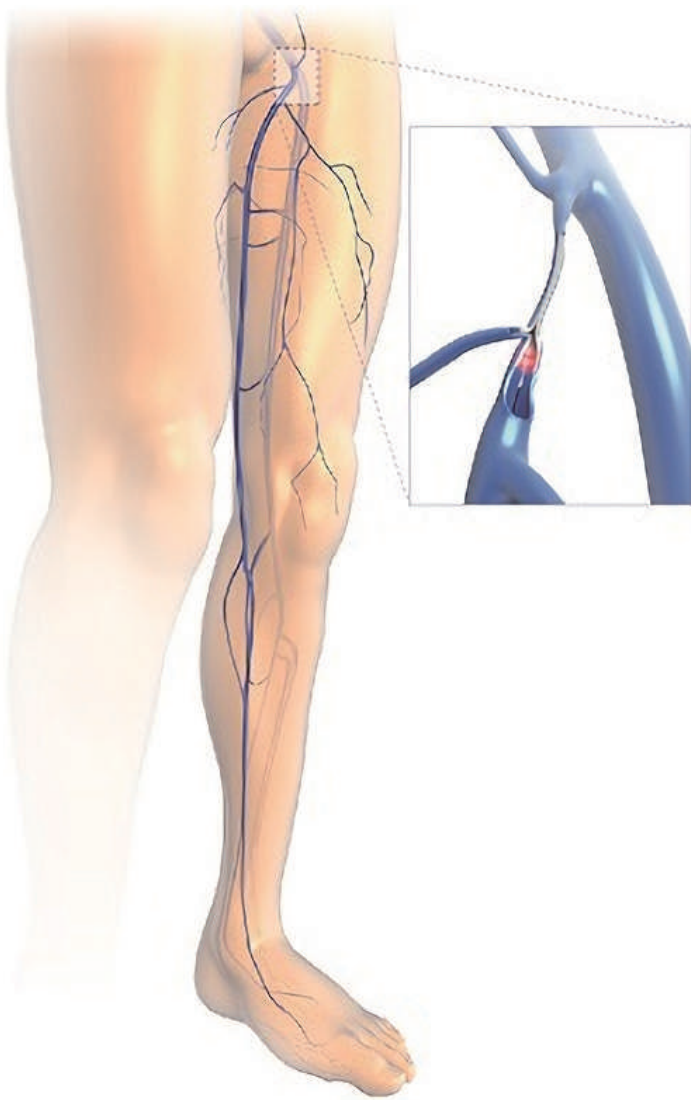
当院形成外科では、以前より下肢静脈瘤に対する診療を行ってまいりましたが、最新治療のひとつである血管内レーザー治療の技術習得および資格取得、機器購入を進め、2018 年 5 月より治療を開始いたしましたのでご連絡申し上げます。

「足の血管が浮き出ている、コブになっている」「足が重い・だるい・疲れる」「足がつる」「足の血管が痛い」といった愁訴が起こりうる下肢静脈瘤ですが、比較적으로よく見かける疾患で、以前は治療といえばストリッピング、高位結紮、硬化療法、圧迫療法が一般的でした。しかし、2001 年に Navarro らが報告して以降、血管内レーザー治療が世界中に広まり、治療技術と機器が進歩していきました。現在では治療成績が高く低侵襲で、ダウンタイムが短く合併症も少ない治療として、日本国内でも広く行われています。

当院では、最新機種のひとつである ELVeS レーザー 1470（インテグラル社）を導入し、保険適応の診療を行っております。また、従来の手術、硬化療法、圧迫療法に加え、クモの巣状静脈瘤に対する Vbeam 治療（色素レーザー、シネロン・キャンデラ社）も行っており、下肢静脈瘤に対する総合的な診療体制が整ったと自負しております。治療は日帰り、入院いずれにも対応しておりますが、患者さまの安全を第一に話し合うようにしています。当院の新たな特色のひとつになるよう力をいれていきたいと考えておりますので、どうぞ気兼ねなくご相談くだされば幸いです。



血管内レーザー治療イメージ 1



血管内レーザー治療イメージ 2



ELVeS レーザー 1470 本体

透析室におけるフットケアの取り組み

透析患者さんには、糖尿病などの並存症や腎不全を原因としたさまざまな足のトラブルが起こります。たとえば末梢動脈疾患（PAD：Peripheral Artery Disease）が挙げられます。末梢動脈疾患では、足が虚血状態となり、ささいな創が治らなくなったり、感染などから一気に趾や足が壊死してしまうことがあります。治療が長期化したり、大切断に至ることがあり、ADL の著しい低下を招きます。このような問題意識を背景に、当院の透析室では以前よりフットケアを行っております。



フットケアの風景

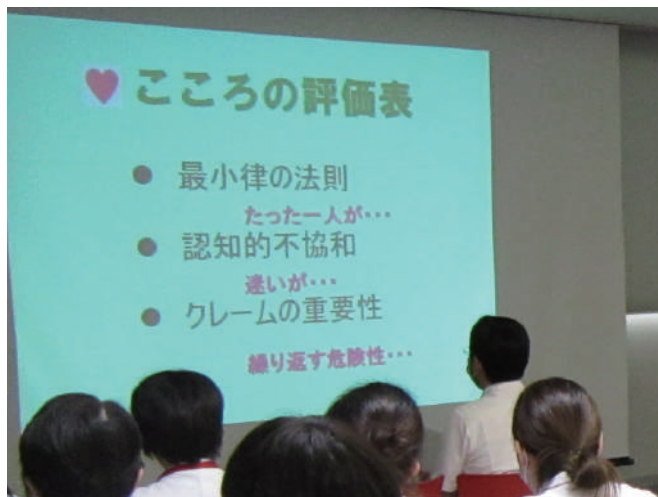
フットケアでは定期的に評価とケアを行っており、その内容としては、まず血流の評価が挙げられます。冷感や疼痛などの自覚症状、間欠性跛行、下肢動脈の拍動、足関節上腕血圧比（ABI：ankle brachial index）、皮膚灌流圧（SPP：Skin Perfusion Pressure）、超音波検査などで血流を評価しています。もし末梢動脈疾患と判断され、患者背景も勘案して治療が必要な場合、医師と相談し、運動療法や薬物療法、血行再建を検討するようにしています。血流の評価以外に、創や感染のきっかけの排除を行っています。具体的には、創や胼胝・鶏眼がないか、爪が伸びたり肥厚したりして隣の趾を傷つけそうになっていないか、感染のきっかけになる白癬に罹っていないか、ひびわれの原因になる皮膚の乾燥がないかなどをチェックし、対応しています。

今後は、チェックやケアの質を高めるとともに、患者さんやご家族によるセルフケア指導も進めていき、「患者さんの足をみんなで守る」ように取り組みを続けてまいりたいと考えております。



透析室フットケアチーム

接遇研修



2018 年 5 月 10 日、5 月 28 日と 2 回に分けて接遇研修を行いました。今年も 123 名と多くの職員が参加しました。研修に参加することで、自分たちの日頃からの言動を振り返る事ができました。病院理念であるホスピタリティーもてなしの医療ーを目指して、心のこもった接遇を心がけていきます。

消防訓練

2018 年 6 月 21 日消防訓練を行いました。患者さまの安全のため、災害時に適格で迅速な対応ができる判断力と行動力を身につけることを目的に、年 2 回行っております。日頃からの訓練を通して、今後も安全・安心を目指していきたいと思います。



水消火器による初期消火訓練を行いました。



夜間等の少人数時を想定した患者さまの避難や担架搬送の訓練を行いました。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➡ 079-225-1231にお電話ください。
担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・サーモグラフィー・マンモグラフィーのご依頼

➡ 079-225-1231にお電話ください。

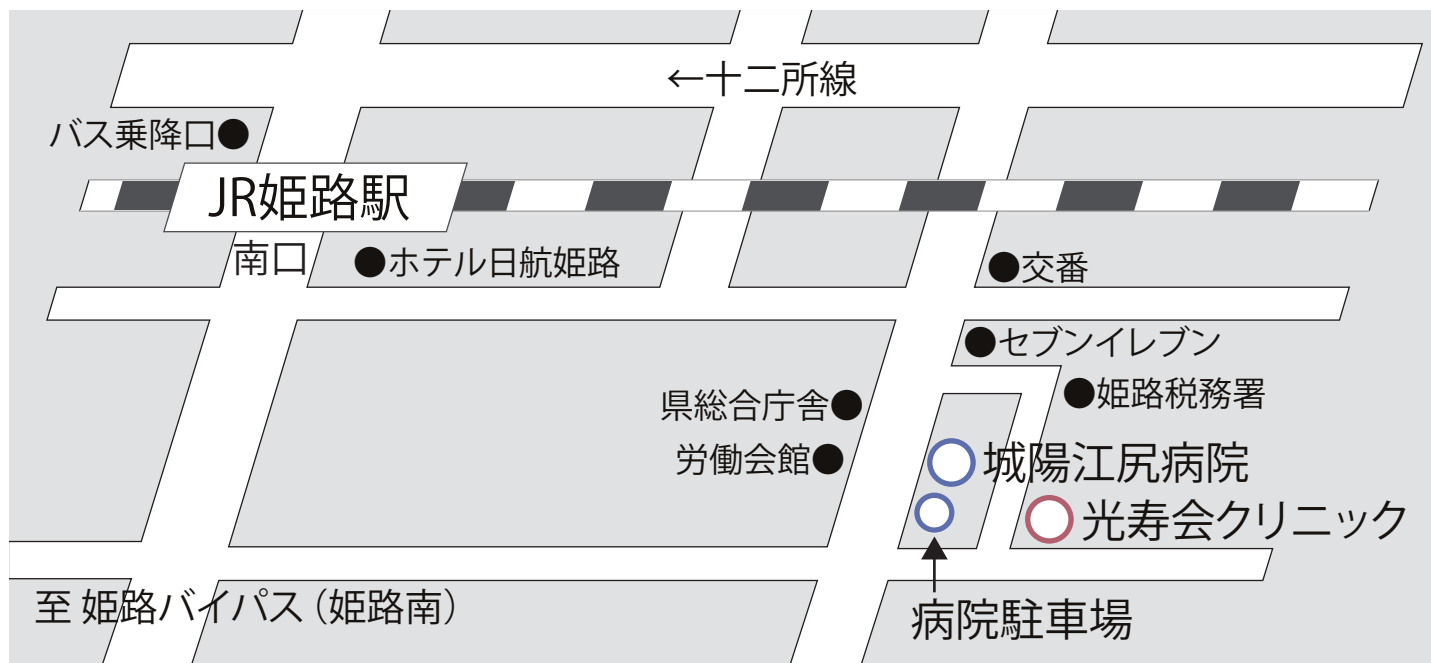
※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



EJIRI HOSPITAL
城陽江尻病院

〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
ホームページ：www.ejirihospital.or.jp
代表 Tel：079-225-1231
Fax：079-222-0154